

「環境と福祉を学ぶ」

第49回ひとあゆみの会を終えて

ひとあゆみの会 事務局 小金丸敬仁
かたばる病院・機能訓練室



閉会式で祝辞を述べる白川市長

5月20日に第49回ひとあゆみの会を「環境と福祉を学ぶ」と題して開催しました。参加者は会員17人、家族9人と介護・ボランティア45人の総勢71人の参加でした。今回は、整備されたばかりの壱岐市クリーンセンターと結の会が運営するレストハウス結や天寿庵の見学を中心に行いました。当日は雲が多かったものの雨の心配もなく、風も穏やかな一日でした。午前10時に壱岐市クリーンセンターの2階に集合し開会式を開催しました。松山会長の挨拶に始まり白川市長に祝辞を賜り、小林センター長に説明・案内を受け広報ビデオを見ました。新しくなった施設と最新設備に驚く声とゴミの減量とリサイクルの推進への意識をみんなで高めることが出来ました。日曜日の午前中はゴミの持ち込みが多いため車両の通行量が多く、関係者の皆様にはご迷惑をおかけしました。

全員で車に分乗して、大谷体育館の西側にある壱岐國の里が開設した障害者ケアホーム壱岐を経由して大神トンネルを通り、坪触の結・天寿庵に向かいました。昼食は、レストハウス結でとりました。その後は



クリーンセンター前での記念写真



学を中心に行いました。当人は雲が多かったものの雨の心配もなく、風も穏やかな一日でした。午前10時に壱岐市クリーンセンターの2階に集合し開会式を開催しました。松山会長の挨拶に始まり白川市長に祝辞を賜り、小林センター長に説明・案内を受け広報ビデオを見ました。新しくなった施設と最新設備に驚く声とゴミの減量とリサイクルの推進への意識をみんなで高めることが出来ました。日曜日の午前中はゴミの持ち込みが多いため車両の通行量が多く、関係者の皆様にはご迷惑をおかけしました。

多機能型事業所・天寿庵の説明や、午前中に建物だけを見た障害者ケアホーム壱岐（共同生活介護）の説明を聞きまし。さらに在宅ケア総合支援センターについても雨海センター長から紹介いただきました。その後、定期総会を開き、引き続き役員は会長に松山桂子さん、幹事に豊坂太郎さん、来年の旅行が決定しました。時間に余裕があったので、急遽、キャトルセンターまで散策しました。道路の高低差は車いすを押す人にとっては大変だったようですが、心地よい初夏の風にふれる機会となりました。この一日で「環境問題への理解を深めるとともに、障害者の福祉も着実に進んでいることを感じました」との感想が聞けました。



壱岐市ならびに壱岐市社会福祉協議会ははじめ関係機関や一般住民のボランティアのご協力あってこそだと思っています。障害があっても明るく前向きに、ともにあゆみましょう。今後ともよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

《短歌とエッセイ》市山 節子
高千穂峽（宮崎県）
神々が天より降りし高千穂のすがしき峽にこころ緊まるる
そそり立つ黒き崖より流れ落つ真名井の滝にパウーもらいぬ
ボートにて見上ぐる崖より垂直に吾に迫りくる竜のごとくに
荘厳なムードただよう神のさと湧き出だす水にこころ癒さる
国見ヶ丘より霧とも見ゆる雲海の朝陽に浮かぶ阿蘇の山やま
宮崎県の延岡市から、五ヶ瀬川沿いに五十キロ奥の高千穂峽は、阿蘇の溶岩が渓流に深くえぐられたV字型の峽谷です。
厚い雲を押し分けて、神々が天上界から降り立ったといわれる高千穂。バスを降りて、遊歩道沿いから撮影スポットの真名井の滝と、黒くそそり立つ断崖。岩と水と木々によって造り出された神秘の造形美に出逢った瞬間、神話伝説が息づく山里だと思いました。
俳人、山頭火が詠んだ「分け入っても分け入っても青い山」の句は、山深い高千穂での作です。
そして「からたちの花」「この道」の歌で知られる、北原白秋も晩年に訪れ、自然豊かなこの地が気に入り、永住の地にしようとして決めていたが亡くなった為、実現しなかったとの事でした。
心温かい高千穂の人々は、本当に住んでもらいたかったと残念がっていたそうです。
高千穂は、紅葉のシーズンもすばらしく、近くの高千穂神社で夜を徹して、神々への舞を奉納する夜神楽も始まるそうです。

あしべ文芸第211号
俳句作品集より
薄日差す花一輪の冬座敷
粉雪の舞いて幼子はしゃぎおり
日脚伸ぶ孫の歩幅でまわりみち
古井戸の名残に梅の古木かな
主な庭に黄金の大銀杏
燃え尽きて木曾路の谷は冬に入る
揺れながら旅の夢追い冬の海
木漏れ日の影も静かに炬燵かな
鎮魂の灯りとどけとクリスマス
しんと真夜の寒月窓を射す
野水仙の朝の風薫る
ランドセル背負ひて二人桜道
煙より逃れてなおも焚火かな
氏神に一人詣でて初記帳
柳澤 幸子
森 万里
吉永 清子
奥野 和代
祐
興津美智子

投稿 — 2 —
牧師室便り
小さな花
長尾 知明
花の綺麗な季節に思い出す出来事があります。
あるおばあちゃんのお宅を訪ねた時のことです。
お伺いすると、私にどうして見せたものがあるから、散歩に行こうというのです。「きれいな花が咲いているから、見せてあげたい」と。
私は正直なところ「困ったな」と思いました。その方は、足が丈夫でなかったのです。でも、せっかくだから、出かけることにしました。私の腕に手をかけていたでいて、私も注意しながら恐る恐る歩きました。
昔ながらの公園を通ったのですが、石畳など方々がタタで、足場はあまりよくなかったもので、これはたいへんだった。白状しますと、道中、諦めて引き返そうと自分から言い出してはくれないものかと、そんなことをい出です。
考えたことでした。
ご本人は氣力が充実してか、目的地に向かっているしぐらです。私がおばあちゃんを支えているよりも、おばあちゃんに引っぱられていたようだったと記憶に残っています。
やっこのことで着いた目的地。「どうです、先生、綺麗でしょう」と嘆息されたのですが、そこは草の生えた土手でした。苦労してたどり着いた場所がここ・・・でも、緑が綺麗と言え、そう言えなくもない。「花じゃなかったのかな。まあいいか。お年寄りにはありがちなことに違いない」とそう思いつて、「本当に綺麗ですね」と、相槌を打ちながらも、よくよく見てみると、ただの雑草に見えたその草の先に、小さな小さな花が、それこそ土手一面にびっしり咲いていたのです。綺麗でした。
視力だけなら、わたしのほうが良いのです。けれども、見える、見ている、見えていくのは、おばあちゃんのほうでした。
小さな花を見て綺麗だと感動する心。それを私に伝えようとしてくれた熱意。私の大切な花にまつわる思い出です。

壱岐新報 広告掲載の募集です。

※下記は一例です。他の枠もあります。
カラー掲載は1.5倍の料金になります。

壱岐新報	壱岐新報	壱岐新報	壱岐新報
■1段1/2 (縦3.5cm×横13.2cm) 掲載料・・・6,510円(税込)	■2段通し (縦7.4cm×横26.6cm) 掲載料・・・21,735円(税込)	■2段1/3 (縦7.4cm×横8.75cm) 掲載料・・・8,715円(税込)	■3段1/3 (縦11.7cm×横8.75cm) 掲載料・・・11,340円(税込)

選べるキャンペーン実施中

モノクロ料金でカラー掲載が出来ます。

モノクロ料金で2回掲載出来ます。

詳しくはお電話にてお問い合わせ下さい。

壱岐新報社

壱岐市郷ノ浦町片原触247-7
TEL・FAX 0920-47-3196
E-mail: ikishinpou@oboe.ocn.me.jp